



個性あふれる作品が多く出展されました

反射炉が花いっぱい

11月13日「花咲く伊豆の国フェア2021in 葦山反射炉」を開催

「花咲く伊豆の国フェア2021in 葦山反射炉」のお披露目式を、葦山反射炉前芝生広場で開催しました。コンテスト受賞者の表彰や、ジャズバンドの生演奏に合わせた伊豆の国音頭の披露などが行われました。フェアは、11月10日～20日まで開催され、コンテスト受賞作品をはじめとするコンテナガーデンやハンギングバスケットの展示、ミニワークショップの開催など、内容盛りだくさんの内容となりました。

子どもたちが自分の思いを発表

11月13日 わたしの主張発表大会を開催

令和3年度伊豆の国市わたしの主張発表大会を葦山時代劇場で開催しました。同大会は、夢や希望、社会への訴えなど、子どもたちが日ごろ考えていることを言葉で伝えてもらおうと、毎年行っています。

今回は、市内小中学生あわせて9人がそれぞれ自分の視点で主張を発表。SDGsや動物の命、ジェンダー平等などをテーマとした力強い発表に、来場者は真剣な表情で聞き入っていました。



自分の思いを来場者の前で発表



火元に向かって放水する団員

実際の火災を想定し訓練を実施

11月14日 伊豆の国市消防団が中継訓練を実施

市消防団が、葦山運動公園で中継訓練を実施しました。中継訓練とは、火元から防火水槽が離れていることを想定し、複数のポンプ車を連結して放水する訓練のことです。今回は、葦山運動公園へ向かう道路からポンプ車12台を連結し、葦山運動公園野球場バックスクリーン裏の火元に向け放水を行いました。駿東伊豆消防本部の協力のもと、実際の火災の時に、あわてることなく消火活動が行えるよう訓練を実施しました。



未来の温泉場についてグループで話し合い

より良いまちを考える

10月28日 長岡南小5年生が景観まちづくり学習を実施

10月28日、長岡南小学校の5年生が景観まちづくり学習を実施しました。この日は、10月15日に実施したフィールドワークの写真や感想をもとに、景観を通して「未来の温泉場」がどのようなになったら良いのかをグループごとにまとめ、発表しました。発表では、「あやめ小路は道の周りに木を植えたりライトアップをすればきれいな通りになる」などのアイデアがたくさん出ていました。

市の安全・安心の確保のために

11月2日 日本郵便株式会社と包括連携協定を締結

市と日本郵便株式会社は、地域の活性化および市民サービスの向上を図ることを目的に、包括連携協定を締結しました。この協定により、市内の郵便局の局員が業務中に配達などをする際に、事件・事故・その他の異変を発見した際には、発見者が速やかに関係機関へ通報・連絡を行います。締結式で、山下市長は「市の安全・安心の確保に関して、協力をいただき、とても心強い。」と感謝の言葉を述べました。



協定書を手に記念撮影



多くの人でにぎわう葦山反射炉

手づくりの品を楽しむ

11月3日 手作りマーケットVol.3が開催

手作りマーケットVol.3が、葦山反射炉ガイダンスセンター前芝生広場で開催されました。このイベントは、観光まちづくりに取り組む「ひとつなぎ伊豆の国。」が開催。この日は、アクセサリーなどの手作り雑貨の販売や、ワークショップなど35店をフリーマーケット形式で出店。家族連れなど約1,300人が会場を訪れ、イベントを楽しんでいました。次回は、1月8日にポップコーンマルシェとコラボ開催決定。

ベンチで笑顔の輪を広げよう

11月18日 成和建设(株)がベンチなどを香山寺に寄贈

11月18日、成和建设(株)がサイクルラックとベンチを香山寺(葦山山木)に寄贈しました。これは、地域住民や観光客をおもてなししようと、市や関連団体が進めている取り組み「サイクルラックプロジェクト」および「ベンチプロジェクト」の一環として実施されました。

サイクルラックは、香山寺のほか、北条ゆかりの地6カ所に設置予定です。



寄贈されたベンチに座り記念撮影

子どもたちが取材の成果を発表

11月6日 「IZUCCO vol.2」完成発表会が開催

子どもたちが、さまざまな業種のプロたちと協力しながら自分たちの住むまちを取材し、子どもならではの目線で、地域の情報誌をつくる「コロマガプロジェクト」。その伊豆の国市版となる「IZUCCO vol.2」の完成発表会が、道の駅伊豆のへそで開催されました。

発表会では、取材・体験した内容がまとめられた冊子を手し、1ページずつ紹介しました。子どもたちは、緊張しながらも一生懸命発表をしていました。



完成した冊子を手し記念撮影